

エ ゴ ノ キ

Styrax japonica

種名



分類	落葉高木 エゴノキ科 エゴノキ属	俗称	チシャノキ	生活型	
分布	北海道(日高地方)、本州、四国、九州、沖縄、朝鮮、中国、フィリピン北部				
形態	<p>高さ7～15メートルになる。幹はあまり太くならず、根元から何本もでて株立ち状のよく目立つ樹形になる。</p> <p>樹皮は滑らかで、暗紫褐色を帯びる。2年目の枝の表皮は糸状にはがれる。葉は互生し、長さ4.5～8センチの長楕円形で先端が鋭く尖り、基部はくさび形。縁は細かい鋸歯があるかほとんど全縁。裏面は脈に沿って星状毛が散生するかほとんど無毛。葉柄は長さ5～10ミリで基部は冬芽を包まない。</p> <p>5～6月、今年のびた短い側枝の先に白い花を1～4個下垂する。花冠は長さ1.5～2センチで深く5つに裂け、星状毛が密生する。雄しべは10個で花冠より短い、花糸の下部に星状毛があり、基部は花筒に合着する。花柱は雄しべより長い。萼は長さ3～4ミリの杯状で先端は5浅裂し、果期にも残る。花柄は細く長さ2.5～4センチ。果実は長さ1～1.3センチの卵球形で灰白色。果皮は星状毛が密生し、縦に裂けて落ち、褐色のかたい種子が1個残る。種子は卵形で長さ約1センチ。</p> <p>果皮にはエゴサポニンが含まれていて、新鮮な果実を洗濯せっけんの代わりにしたり、麻酔効果があるので、すりつぶして川に流し、魚獲りに使ったりする。</p>				
類似種	伊豆諸島や沖縄以南のものは葉や花が大きく、オオバエゴノキとして区別されることもある。				
生育場所	雑木林などに普通に生える。				
繁殖					
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック					
その他					
用途	くり物、傘のろくろ、床柱、玩具、杖、駆虫剤、肥料。				

引用文献：『山溪カラー名鑑 日本の樹木』を改変